

泰明だより



Taimei・令和5・11

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第393号
中央区銀座五丁目1-13
Tel 03(3571)1765
Fax 03(3571)0672

『 実りの秋 』

校長 荒川 比呂美

日本列島の北から紅葉前線が南下し、秋の深まりを感じます。霜月を迎え、秋本番です。

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、芸術の秋等、何かにじっくり取り組んだり、向き合ったりするには、もってこいの季節となりました。植物の中には、秋に実を結ぶ草木も多く、「実りの秋」とも言われます。春に新芽が出てから光や水といった自然の恵みを受けて生長し、花を咲かせて実を付けます。時には、嵐に吹かれたり雨に降られたりすることもあります。それぞれに違った実を結ぶ様子は、子供たちの成長と重なって見えることがあります。

日々の学校生活において、教科・教科外の学習や体験活動、係や当番活動、友達とのかかわりや異学年生との交流など子供たちが成長する場面や学びを深める場面はたくさんあります。子供たちが一日を振り返ったとき、特に印象に残る場面が思い出せないような日があれば、ハプニングが起きて気分が落ち込んだ日や心も体も元気でポジティブに過ごせた日など、印象に残る日もあるでしょう。日々の成長や学びは、小さな一歩ですから、変化が分かりづらかったり実感がわかなくなったりするかもしれません。しかし、毎日の小さな一歩（達成感や満足感）の積み重ねが、大きな進歩（自信）につながっているのは、確かだと思います。

10月号でもふれさせていただきましたが、人は、どうしても結果を求め、結果のよし悪しで一喜一憂しがちです。しかし、忘れてならないのは、それまでの過程、プロセスに目を向けることです。引き続き学校では、子供たちの日々のがんばりや、それぞれの場面で見せる輝き、成長を見守っていきます。そして、機会を捉えて子供たちが自分の成長に気づき喜べるよう、また、友達のがんばりを認め、称賛できるよう働きかけていきます。みんなで「実りの秋」を感じたいと思います。

校長相談日 11月20日(月)
9時～14時

11月のカレンダー このマークは指定のバッグの登校日です。

| | | | |
|----|---|---------------|--|
| 1 | 水 | | インド留学生との交流(4) 巡回平和展終 |
| 2 | 木 | | 色覚検査(4希望者) 読書週間終 [放] |
| 3 | 金 | | 文化の日 ミニバスケットボール大会③ |
| 4 | 土 | | |
| 5 | 日 | | |
| 6 | 月 | 講話 | 委員会活動 学級活動(2) |
| 7 | 火 | 体育朝会 | 味覚の授業(5) [放] |
| 8 | 水 | | 安全指導 4時間授業 |
| 9 | 木 | | 柏学園遠足(3) [放] |
| 10 | 金 | 保健講話 (林先生) | [放] |
| 11 | 土 | | |
| 12 | 日 | | |
| 13 | 月 | 講話 | ありがとう週間始 避難訓練 クラブ活動 |
| 14 | 火 | 泰明読書 | 校外学習(1) [放] |
| 15 | 水 | | 五大陸留学生との交流(4) 学年活動(5) |
| 16 | 木 | | [放] |
| 17 | 金 | | 就学時健診 B時程4時間授業 |
| 18 | 土 | | 土曜授業日 (開校開園記念体験集会) みゆき通りコンサート (GINZA SIX) |
| 19 | 日 | | |
| 20 | 月 | 講話 | クラブ活動 |
| 21 | 火 | 泰明タイム 泰明読書 | 個人面談① 5時間授業 |
| 22 | 水 | | 個人面談② 5時間授業 |
| 23 | 木 | | 勤労感謝の日 |
| 24 | 金 | 泰明読書 | 個人面談③ 校外学習(2) ありがとう週間終 5時間授業 |
| 25 | 土 | | |
| 26 | 日 | | |
| 27 | 月 | 講話 | 個人面談④ 5時間授業 |
| 28 | 火 | 音楽朝会 | 個人面談⑤ 5時間授業 |
| 29 | 水 | | 個人面談⑥ 校外学習(4) りぷりんと |
| 30 | 木 | | 個人面談⑦ |

() は学年、○は実施する授業時間です。
11月から木曜日にも放課後遊び(4.5.6年)ができるようになります。 時間：14：45～15：00

体育学習発表会

体育的行事委員会 本多 麻美

今年度も運動会を体育学習発表会という形で開催いたしました。今年度のスローガンは各学級からアンケートを募り、「みんなで協力 歴史をつなごう 泰明小」となりました。開校145周年の節目にふさわしい体育学習発表会にしようという思いを胸に練習を重ねてきました。

当日は、金管バンド部のファンファーレから始まり、6年生代表児童による「選手宣誓」、1年生代表児童による「はじめの言葉」、運動会の歌の合唱で元気いっぴいにスタートしました。

感染症対策の緩和に伴い、今年度から2学年合同の保護者参観と、団体種目の導入も試みました。赤組、白組に分かれ、勝利に向かって力を合わせて頑張る姿から、より一体感を感じることができました。勝ったときの喜びだけでなく、負けたときの悔しさを仲間と共有し、来年への目標を口にする児童が多く見られました。

工夫を凝らした学年の表現は、かわいらしさ、美しさ、迫力、笑顔など、様々な表情を見せてくれました。児童鑑賞日には、他学年の演技を見合うことができ、下級生が上級生の演技を見て「みんなで合わせる格好良さ」を学ぶ様子もありました。

天候にも恵まれ、多くの保護者の皆様に参観していただきました。子供たちは練習の成果を堂々と発揮することができ、大きな拍手をもらい達成感を得た様子でした。

お話美術館

第3学年 原 勇太

3・4年生を対象に、お話美術館が行われました。3年生は、「カラスのリヒャルト ともだちをさがして」「『正チャンの冒険』より リスの母」「焼かれた魚」の3作品を、朗読者である春日玲さんに心をこめて朗読していただきました。暗転した講堂の中で、スクリーンに1枚ずつ場面絵が映し出され、それに合った効果音が鳴り、登場人物の心情が表現されたせりふが聞こえる。その臨場感あふれる空気の中で、子供たちは物語の世界の中に入り込んでいました。

最後に春日さんから「物語の感じ方は、人によってそれぞれ違うもの。今感じていることを大切にしてほしい。」とのお話もいただきました。これからも子供たちには、積極的にたくさんの物語と出会ってほしいと思います。また、その時に感じた思いや考えを大切にしてお過ごししてほしいと思います。

本栖移動教室

第6学年 笠原 健作

10月16日から3日間、本栖移動教室に行ってきました。天気に恵まれ、全ての行程を予定通り実施することができました。

1日目のハイキングでは、急な登り道に悲鳴をあげていましたが、山頂で待っていた3つの湖の景色を見て、疲れが一気に吹き飛びました。2日目には、快晴のもと富士山5合目を歩くことができ、雪化粧が始まる富士山頂や麓に広がる樹海の絶景に何度も感動しました。また、鱒釣り体験では、釣った魚の口から針が外せなくて困ったり、狙い通りに魚を釣り上げて得意げになったりする子がいました。魚との真剣勝負に夢中でした。

この3日間で、普段できない自然体験をしたり、友達と協力したりして、子供たちは少し成長しました。学年としての絆がさらに深まったように思います。小学校生活、最後の宿泊行事でしたが、思い出の1ページをまた書き加えることができました。